

単元名 8 表現を見つめる ―漢字に親しもう6

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることができる。
 (3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

11210302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★新出漢字を確認し、練習問題に取り組もう。 ○ 新出漢字を確認する。 ○ 練習問題に取り組む。	・言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ・「〔練習〕小学校六年生で学習した漢字」(p. 251)に併せて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 【評】練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

第2学年における最終のまとめである。ここでは、様々な文章に触れながら、読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに、人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は、置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに、言葉を通して自らを見つめ直し、人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては、一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際、自分の考えを広げるために、互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は、今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

また、多感なこの時期の生徒は、自分や他人を肯定的に見られなくことも多い。批判的に見ることは、新たな発見や成長につながることであったとして認めた上で、自分との関わりから人や物事を見つめ直す経験をさせ、人間に対する理解を深め、たくましく生きていく力を養いたい。